

（１）市制施行70周年記念事業について

- ①NHKのど自慢の出場及び観覧申し込み開始について
- ②「真岡のみらい」小中学生プレゼンコンテストについて
- ③真岡井頭マラソン大会について
- ④もおかびょんファッションコンテストについて
- ⑤フォトスポット設置について

はじめに、市制施行70周年事業についてであります。本市の公式ホームページでは真岡市70周年および二宮誕生70年の記念事業をお知らせするため、特設サイトを開設しております。この70周年記念サイトにより、イベント・募集情報や記念ムービーなど、盛りだくさんの内容を発信してまいりますのでぜひご覧ください。また、市役所本庁舎と二宮コミュニティセンターに、ロゴマークとキャッチフレーズをデザインした懸垂幕を設置いたしました。机の上にありますこちらのミニのぼり旗も、各課の窓口などに設置しており、70周年をさらにPRし、市民総ぐるみでお祝いしてまいりたいと思います。

今回お知らせする記念事業の一つ目は、「NHKのど自慢」についてであります。8月4日・日曜日に、KOBELCO真岡いちごホールにおいて公開生放送で実施される、「NHKのど自慢」の出場や観覧の申し込み方法などが決まりました。まず、出場申し込み方法であります、「インターネット」でNHK宇都宮放送局のサイトから申し込みいただくか、「郵便はがき」での申し込みをお願いいたします。出場申し込みの締め切りは、6月28日・金曜日までとなっております。続いて、観覧申し込み方法であります、「インターネット」でNHK宇都宮放送局のサイトから申し込みをお願いいたします。観覧については、「はがき」での申し込みは行っておりませんのでご注意ください。観覧申し込みの締め切りは、7月5日・金曜日までとなっております。いずれも、申し込み多数の場合は抽選となります。当日は、予選を勝ち抜いた、およそ20組の出場者のほか、演歌歌手で、全世界デビューも決定した島津亜矢さんと、ムード歌謡歌手の竹島宏さんが出演されます。本市での「NHKのど自慢」は、8年ぶりの開催ですので、市民の皆様には、奮って参加、申込みをいただき、70周年記念事業として大いに盛り上げていただきたいと思います。

二つ目は、「真岡のみらい」小中学生プレゼンコンテストについてであります。8月21日・水曜日に、「真岡のみらい」をテーマに1人1台タブレット端末を活用したプレゼンテーションコンテストを実施いたします。コンテストの内容としましては、小学生部門、中学生部門、英語部門の3部門に分かれて、真岡市のPRや真岡市をより魅力あるまちにする提案などについて1人5分程度のプレゼンテーションを行い、部門ごとに最優秀賞1点、優秀賞2点を表彰いたします。さらに最優秀賞受賞者につきましては、10月5日に行われる70周年記念式典にて、発表していただく予定です。応募については、個人、グループは問わず、学校で授業として取り組んだ内容も応募可能です。申込みの詳細については、決定次第、学校を通じて、また広報紙、ホームページ等によりお知らせをいたします。皆様からの応募をお待ちしております。

三つ目は、「真岡井頭マラソン大会」についてであります。第41回目の開催を迎える「真岡井頭マラソン大会」を、10月13日・日曜日に開催いたします。例年、10月の第1日曜日に開催しておりますが、今年は10月5日に市制施行70周年記念式典を開催するため、今回の開催は10月の第2週となります。開催場所は、例年と同じ、井頭公園をスタート・ゴールとする特設コースで、メインとなる一般の10キロコースをはじめ、中学生および一般の4キロコース、小学生および親子ペアの2キロコースがあります。ゲストランナーとして、公務員ランナーからプロに転向し、パリオリンピック男子マラソン日本代表補欠登録選手に選ばれている「川内優輝」選手を招待いたします。申込期間は、6月3日・月曜日から、7月26日・金曜日までとなっておりますので、総合体育館窓口やインターネットなどでお申込みください。

本大会は、市内をはじめ関東地方を中心に、全国各地のマラソン愛好家から親しまれているイベントです。ぜひ多くの皆様にお申込みいただきたいと思っております。

四つ目は、もおかぴょんファッションコンテストについてであります。

「もおかぴょん」は、頭のSLや真岡木綿のように真っ白な肌と、いちご柄のスポンがトレードマークで、真岡のイメージキャラクターとして各種イベントで活躍しております。市制施行70周年を迎えるにあたり、「も

「もおかぴょん」による更なる本市のイメージ向上を図るため、「もおかぴょん」に着てほしい衣装のデザインを募集しております。募集期間は、6月30日までとなっており、どなたでも参加することができ、複数デザインの応募も可能です。応募用紙は、市役所や図書館で配布するほか、市ホームページからダウンロードができますので、オンライン申請、または市内4カ所に設置した応募箱に投函もしくは郵送のいずれかの方法で応募してください。なお、最優秀賞のデザインは、実際に「もおかぴょん」が着用する衣装として作成する予定ですので、ぜひ多くの方に応募いただければと思います。

5つ目はフォトスポット設置についてであります。

いちご王国栃木の首都もおかとして、日本一のいちごのまちをPRするとともに、市制施行70周年事業である「ストロベリーワールド in 真岡」に向けた市民の機運醸成のため、市役所1階エレベーター前にフォトスポットを設置いたします。フォトスポットは、いちご王国をイメージしたいいちご柄のパネルの前に、いちごの食品サンプルやグッズを展示するほか、中央にはソファを設置し、座って記念撮影ができるものです。フォトスポットでの撮影は、6月7日から開始となりますので、記念すべき届出や市役所に来庁された際など、市制70周年が思い出となるよう記念撮影場所としてご利用ください。

市制施行70周年事業については以上となりますが、詳細につきましては、70周年記念サイトをご覧ください。

（2）複合交流拠点施設の愛称決定及び開館予定日について

次に、現在、整備を進めております複合交流拠点施設の愛称決定及び開館予定日についてであります。愛称につきましては、市のホームページやSNS等を通じて広く募集した結果、177作品の応募があり、最終選考となる市内の小学5年生から中学3年生までの児童・生徒の皆さんの投票の結果、市内在住の石川由里さんの作品、「monaca(モナカ)」が、投票総数2,805票のうち、1,450票を獲得し、最優秀賞となり愛称として決定いたしました。「monaca」は、「真岡のまんなか」という意味で、複合交流拠点施設が、真岡の中心部として、賑わって欲しい

という願いが込められています。現在、愛称「monaca」のイメージに合わせたロゴマークを指定管理者である、シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社と協議し作成を進めているところであり、決定次第、改めてお知らせいたします。続いて、複合交流拠点施設の開館予定日について、お知らせいたします。複合交流拠点施設の整備状況であります。3月下旬には、周囲の足場や仮囲いが外され外観が確認できるようになり、現在は床や天井などの内装工事を実施しております。今後は、外装仕上げや外構工事を行い、図書用の棚、机やイスなどの備品の搬入・設置を行い、9月末の竣工を予定しております。また、10月から12月までは、図書類の搬入や施設運営スタッフの研修などを実施し、開館日は、令和7年1月25日・土曜日を予定しております。当日は、開館記念式典を実施する予定であり、今後、式典の詳細について検討してまいります。

（3）まちづくり拠点の整備について

次に、まちづくり拠点の整備についてであります。まちづくり拠点につきましては、昨年12月から市役所近くの空き店舗のリノベーションを開始し、改修工事と合わせて、高校生や大学生、地域の方々が自分たちで作る、リノベーションワークショップを開催してまいりました。ワークショップには、これまで15回、延べ200人を超える方々にご参加いただき、このたび工事が完了したことから、6月1日より、本格運用を開始してまいります。このまちづくり拠点は、これまで真岡まちづくりプロジェクト、通称「まちつく」において、数々の社会実験を実施してきた中で、五行川河川緑地といった、規模の大きな場所だけでなく、まちなかで、屋内において、学生が立ち寄れるカフェなどの居場所が欲しい、農産物の販売がしたい、講座等を開催したい、との要望もあつたことから、新たに整備したものであります。今後、市民の「やってみたい」の一步目を踏み出す場所として、1階はシェアキッチンを併設したイベントスペース、2階は個人事業主等のシェアオフィスとして、まちなかの新たなにぎわい創出を図っていきたいと考えております。

（4）真岡グリーンツーリズム農業体験等の開催について

次に、真岡グリーンツーリズム農業体験等の開催についてであります。本市農業の魅力を発信するため、新たに貴重な国産ごまの定植体験を、6月1日・土曜日に開催いたします。これらの事業は、農業者の発案により企画したものであり、今後、いちごの就農体験も予定をしておりますので、ご期待ください。また、今後、農業体験などの都市農村交流事業を更に充実していくため、6月19日・水曜日、チャットパレスにて「グリーンツーリズム入門セミナー」を開催いたします。当日は、都市や農村の活性化に関する事業を全国で展開する、一般財団法人都市農山漁村交流活性化機構、愛称「まちむら交流きこう」の「宍戸信一」氏を講師に講演会を開催するほか、ワークショップを予定しており、農泊や農業体験の受入れを検討されている方やグリーンツーリズムに関心のある方であれば、どなたでも受講できる内容となっておりますので、皆様の参加をお待ちしております。詳細は配布をしましたチラシをご覧ください。

（５）新図書館開館に伴う図書館の貸出の休止について

次に、新図書館開館に伴う図書館の貸出の休止についてであります。複合交流拠点施設の新図書館のオープンに合わせ、現在ご利用いただいている図書館からの図書の移動と入れ替え作業に加え、新図書システム導入に向けたＩＣチップの貼り付け・データ入力、運用テストなどの作業が必要となるため、真岡市立図書館、二宮図書館、公民館西分館図書室の図書の貸出を10月から新図書館オープンまでのおよそ4か月間停止させていただきます。ただし、各図書館の学習室につきましては、引き続きご利用できますので、ご活用ください。なお、公民館西分館図書室につきましては、今後、学習室と改め、今までの学習室としての利用とリサイクル本の読書スペースとして、新図書館オープンに合わせて再開いたします。利用者の皆様には長い期間にわたり、ご不便、ご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解ご協力のほどお願い申し上げます。

（６）その他（真岡市アンバサダーについて、いがしらふぁーむ野菜の収穫体験の実施について）

その他といたしまして、事務局から、3点お伝えいたします。

1点目は、真岡市アンバサダーについて、ご説明いたします。

この度、新たに市内在住のソプラノ歌手上田純子氏を真岡市アンバサダーに委嘱することとなりました。

上田氏は、国立音楽大学をご卒業後、同大学大学院声楽専攻を終了し、その後、新国立劇場オペラ研究所に在籍しております。また、文化庁派遣芸術家在外研究員としてイギリスに留学の経験もあり、イタリア声楽コンクールでは、ソプラノ特別賞を受賞されています。現在も、多くのオペラに出演するなど、幅広く活躍されております。

なお、上田氏への委嘱状につきましては、明日28日午前11時から市長公室において交付する予定となっております。

また、真岡市アンバサダーについて、1階国際交流展示コーナー南側に紹介コーナーを設けましたので、ぜひ、ご覧ください。

2点目は、いがしらふぁーむ野菜の収穫体験の実施についてご説明いたします。いがしらリゾートにある、あぐりっ娘東側の農場で、昨年引き続き収穫体験を実施しております。この事業は、いがしらリゾートにおいて、いちごシーズン以外の体験コンテンツの充実を図る目的で実施するもので、毎週土曜・日曜日に、季節に応じて「じゃがいも、とうもろこし、さつまいも、えだまめ、だいこん」など旬の野菜の収穫体験を提供するものです。なお、5月は、「ホウレンソウ、水菜、大根、レタス」などを予定しており、体験料は1組あたり千五百円、申込方法など詳細はホームページをご覧ください。

3点目は、先程市長から、お知らせいたしました「真岡グリーンツーリズム農業体験等の開催について」のうち、6月2日（日）開催予定の「ナシの摘果（てきか）体験」ですが、急遽、事業を企画した農業者の都合により、中止となりましたので、ご連絡いたします。なお、9月1日開催の、収穫体験は予定どおり開催いたします